

行政経営アクションプラン

平成 30 年度自己評価が「C(想定どおりの実施効果・成果が得られなかった等)」となったもの
→資料一式:①アクションプラン/A4 両面 ②令和元年度アクションプラン調査票/A4

No.	アクションプラン名
1	町議会と行政の協働による政策の形成の推進
2	各課の創意工夫による予算要求段階からの経費削減
3	業務量の把握、職員の適正等を踏まえた人事配置

行政経営アクションプラン

I. 行政経営計画におけるアクションプランの位置付け

① 基本方針	IV	住民・議会・行政との協働を推進します	種別	<input type="radio"/>	新規	<input type="radio"/>	途中追加
				<input checked="" type="radio"/>	継続	<input type="radio"/>	終了
② 取組事項名	①	町議会との協働を推進します	担当課	総務課・議会事務局			
③ アクションプラン名	1	町議会と行政の協働による政策の形成の推進 町民に開かれた議会運営のさらなる推進	担当	行政係・事務局			

II. アクションプランの内容

④ アクションプランの取組内容	⑤ 事業期間
<p>町議会と行政の協働による政策の形成を推進するため、現在、担当部署レベルで実施の判断を行っている議会の常任委員会の活用等について、ルールを検討する。</p> <p>町議会と行政が、町民に開かれた議会運営をさらに推進するため、各種施策や取り組みに対する町民への説明責任を果たす仕組みとして、現状の議会傍聴や議会広報などによる情報発信にとどまらず、さらなる新しい手法を検討する。</p>	<p>平成 30 年度 から (2017)</p> <p>令和 3 年度 まで (2021)</p> <p>※ 開始年度 平成 30 年度</p>

⑥ アクションプランのスケジュール

平成29年度	変更(有)	平成30年度	変更(無)	令和元年度	変更(無)	令和2年度	変更(無)	令和3年度	変更(無)
・町議会と行政の協働による政策形成の推進に向けたルールの検討		・町議会と行政の協働による政策形成の推進に向けたルールの検討 ・検討されたルールについて町議会へ確認し決定		・町議会と行政の協働による政策形成の推進に向けたルールの運用開始 ・ルールの運用推進に向けた取組		・ルールの運用推進に向けた取組 ・議会活動の情報発信の現状分析 ・現状分析結果による今後の取り組みの研究		・現状分析結果による今後の取り組みの研究 ・新たな情報発信の実施	

⑦ アクションプランの目標

・町議会と行政の協働による政策形成の推進に向けたルールについて検討を行い、町議会の確認を経て決定し、平成31年度からの運用開始を目指す。

・ルールが決定し運用開始したら、ルール運用の推進に向けた取組を行う。

・町議会と行政が、町民に開かれた議会運営をさらに推進するため、現状の議会傍聴や議会広報などによる情報発信にとどまらず、さらなる手法を検討し、令和3年度から新たな取り組みの実施を目指す。

⑧ アクションプランの達成指標	単位	H28	H29	H30	R01	R02	R03
		実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
No.1 町議会と行政の協働に向けたルールの検討	—			○	○		
No.2 町議会への確認	—				○		
No.3 ルールの運用	—				○	⊖	⊖
No.4 議会活動の情報発信の現状分析	—					○	
No.5 新たな情報発信手法の研究	—					○	○
No.6 新たな情報発信手法の実施	—						○

⑨ 関係課との連携

・ルールについては、総務課と議会事務局が中心となって検討を行う。

・検討されたルールについては、町議会に確認を行い決定する。

・議会活動の情報発信の現状分析については、議会事務局から情報提供してもらいながら行う。

・新たな情報発信手法の研究については、議会事務局と連携して行う。

Ⅲ. アクションプランの進捗状況、自己評価、取組実績、取組後の課題

年度	進捗状況	自己評価	⑩ 取組実績	⑪ 取組後の課題
H29 (2017)	×	C	未着手	早急に検討を行う
H30 (2018)	×	C	未着手 他自治体議会での運営事例を調査・説明したが、議員の任期が残り少なくなったため、新議会において調査検討を引き続き行うこととなった。	早急に検討を行う
R01 (2019)	○	B	政策形成の推進に向けたルールづくりによる議会の活性化策として、議会常任委員会の活動について、開催の定例化を開始した。そのことで、本会議で質問・質疑のあったことや委員長が課題と考える各々の所管事務に関することを案件とし、委員間での情報共有や意見交換が深められている。	議会の活性化を引き続き推進しながら、町民に対して議会の重要性を理解してもらい、関心を高める必要がある。
R02 (2020)				
R03 (2021)				

Ⅳ. アクションプランの取組に関する行政経営推進委員会の評価、取組後の課題及び評価に対する改善・見直し

年度	⑫ 行政経営推進委員会の評価	⑬ 取組後の課題及び評価に対する改善・見直し
H29 (2017)	議会の運用の仕方について、他市町村の事例を議会に情報提供することは必要である。計画の進め方については、担当課に一任する。	「常任委員会→全員協議会→本会議」というサイクルに基づく行政と議会間の説明・協議をルール化することを議会に説明、確認を得て、協働による政策形成の推進に向けたルールを確立する。
H30 (2018)		
R01 (2019)		
R02 (2020)		
R03 (2021)		

1 「進捗状況」について

◎	計画を上回って進んだ
○	計画通り進んだ
△	一部の取組が遅れた
▲	全体的に取組が遅れた
×	未実施

2 「自己評価」について

A	想定以上の実施効果・成果が得られた、または想定以上の内容で検討・準備作業が行われた
B	概ね想定どおりの実施効果・成果が得られた、または概ね想定どおりの内容で検討・準備作業が行われた
C	想定どおりの実施効果・成果が得られなかった、または想定どおりに検討・準備作業が行われなかった（着手はしているが、検討結果が得られなかった等）

令和元年度 行政経営アクションプラン調査表

アクションプランNo.	IV ① 1	作成者	主幹 成田 和久
基本方針	住民・議会・行政との協働を推進します		
取組事項名	町議会との協働を推進します		
アクションプラン名	町議会と行政の協働による政策の形成の推進		
所管課	総務課・議会事務局		

1 アクションプランの実施予定及び実施状況

- (1) 行政経営アクションプランに基づく取り組みの実施予定(見込)または実施状況を記載してください。
 (2) 記載欄が不足した場合は、適宜追加してください。

実施(予定)月日	取り組み	具体的な内容
	政策形成の推進に向けたルールの検討	昨年度は具体的な検討について実施できていない。 今年度以降、常任委員会の開催方法について議会内部での見直しを行い、ルールの検討につなげたい。
R01.6月	議会における議事進行への申し入れ (総務課)	【申し入れ事項】 ・関連質疑(関連質問)の関連元を明確化 ・関連質疑(関連質問)に疑義が生じる場合の反問 ・議案審議における議案に関連しない事項は一般質問で (総務課)
R01.9月	議会常任委員会のルール化(議会事務局)	政策形成の推進に向けたルールづくりによる議会の活性化策として、常任委員会開催の定例化を開始する。

2 アクションプランの修正等

行政経営アクションプランに基づく取り組みを実施した結果、アクションプランの修正が必要と思われる場合は記載してください。

修正等内容
アクションプラン名を「町民に開かれた議会運営のさらなる推進」に変更する。 変更理由/現行プランに基づく取り組みは、引き続き議会内部で検討を進めていただきながら、町民との情報共有の観点から、町民に対して議会の重要性を理解してもらい、関心を高めることが今後ますます必要であるため。

行政経営アクションプラン

I. 行政経営計画におけるアクションプランの位置付け

① 基本方針	I	財政基盤を強化します	種別	<input type="radio"/>	新規	<input type="radio"/>	途中追加
				<input checked="" type="radio"/>	継続	<input type="radio"/>	終了
② 取組事項名	④	各課において自主的に経費節減を図ります	担当課	財政管財課			
③ アクションプラン名	1	各課の創意工夫による予算要求段階からの経費削減	担当	財政係			

II. アクションプランの内容

④ アクションプランの取組内容	⑤ 事業期間
<p>今後ますます厳しい財政状況が予想される中において、これまでの慣例にとらわれることなく、コスト意識をもって、予算要求段階から経費削減を推進するため、予算編成方針の見直しを行い各課においての取り組みを促す。インセンティブ予算制度を実施する。</p>	<p>平成 29 年度 から (2017) 令和 3 年度 まで (2021)</p> <p>※ 開始年度 平成 29 年度</p>

⑥ アクションプランのスケジュール

平成29年度	変更(有)	平成30年度	変更(無)	令和元年度	変更(無)	令和2年度	変更(無)	令和3年度	変更(無)
<ul style="list-style-type: none"> ・当初予算編成方針を見直し、コスト意識や費用対効果を検証する仕組みづくり ・予算編成方針に基づく予算編成 ・枠配分方式の調査・研究 		<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成方針の検証 ※必要に応じて見直し ・インセンティブ予算制度の実施 		同左		同左		同左	

⑦ アクションプランの目標

<ul style="list-style-type: none"> ・当初予算要求段階において、各課でコスト意識や費用対効果を検証してもらい、経費削減を推進する。 ・インセンティブ予算制度を実施する。

⑧ アクションプランの達成指標	単位	H28	H29	H30	R01	R02	R03
		実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
No.1 予算編成方針の検証	—	○	○	○	○	○	○
No.2 インセンティブ予算制度の実施	—	—	○	0件	3件		
No.3							
No.4							
No.5							
No.6							

⑨ 関係課との連携

--

Ⅲ. アクションプランの進捗状況、自己評価、取組実績、取組後の課題

年度	進捗状況	自己評価	⑩ 取組実績	⑪ 取組後の課題
H29 (2017)	○	B	当初予算編成方針において半数程の出席率であったことから、コスト削減や費用対効果の意識付けはある程度できたものとする。 インセンティブ制度を実施することはできたが、まだ認知度が不足していると感じる。	インセンティブ制度について、職員が制度の内容を理解して積極的に利用できる環境づくりを要する。
H30 (2018)	▲	C	予算編成方針説明会にて制度の説明（11/20、11/27）平成30年度中の申請は無かった。	制度の再周知を行い、認知度を上げる。 申請に向けたアドバイスを行い実績を作る。
R01 (2019)				
R02 (2020)				
R03 (2021)				

Ⅳ. アクションプランの取組に関する行政経営推進委員会の評価、取組後の課題及び評価に対する改善・見直し

年度	⑫ 行政経営推進委員会の評価	⑬ 取組後の課題及び評価に対する改善・見直し
H29 (2017)		
H30 (2018)		
R01 (2019)		
R02 (2020)		
R03 (2021)		

1 「進捗状況」について

◎	計画を上回って進んだ
○	計画通り進んだ
△	一部の取組が遅れた
▲	全体的に取組が遅れた
×	未実施

2 「自己評価」について

A	想定以上の実施効果・成果が得られた、または想定以上の内容で検討・準備作業が行われた
B	概ね想定どおりの実施効果・成果が得られた、または概ね想定どおりの内容で検討・準備作業が行われた
C	想定どおりの実施効果・成果が得られなかった、または想定どおりに検討・準備作業が行われなかった（着手はしているが、検討結果が得られなかった等）

令和元年度 行政経営アクションプラン調査表

アクションプランNo.	I ④ 1	作成者	岩崎 良昭
基本方針	財政基盤を強化します		
取組事項名	各課において自主的に経費節減を図ります		
アクションプラン名	各課の創意工夫による予算要求段階からの経費削減		
所管課	財政管財課		

1 アクションプランの実施予定及び実施状況

- (1) 行政経営アクションプランに基づく取り組みの実施予定(見込)または実施状況を記載してください。
 (2) 記載欄が不足した場合は、適宜追加してください。

実施(予定)月日	取り組み	具体的な内容
令和元年5月30日	グループウェア掲示板で周知	制度の趣旨、実施要領を全職員(出先機関、学校含む)へ周知。 提出期限:令和元年7月26日(H30.4.1~H31.3.31実施分) 平成31年度中の取り組みに対しても、R2.7.27の提出期限で実施する。
令和元年7月中旬	グループウェア掲示板で周知	提出期限の再周知。
令和元年11月下旬	インセンティブ予算制度の実施	当初予算編成方針説明会において取り組む旨通知し、同制度を実施する。
通年	年間を通じて、相談を受けアドバイスを行う。	提出期限にこだわらず、当初予算の課内査定まで受け付けることも検討。

2 アクションプランの修正等

行政経営アクションプランに基づく取り組みを実施した結果、アクションプランの修正が必要と思われる場合は記載してください。

修正等内容

行政経営アクションプラン

I. 行政経営計画におけるアクションプランの位置付け

① 基本方針	II	効果的かつ効率的な組織運営を行います	種別	<input type="radio"/>	新規	<input type="radio"/>	途中追加
				<input checked="" type="radio"/>	継続	<input type="radio"/>	終了
② 取組事項名	①	定期的に行政組織や職員定数等の見直しを行います	担当課	総務課			
③ アクションプラン名	2	業務量の把握、職員の適性等を踏まえた人事配置	担当	人事係			

II. アクションプランの内容

④ アクションプランの取組内容	⑤ 事業期間
<p>職員の研修状況(市町村アカデミー中心)を踏まえた人事配置を行うため、定期人事異動の基礎資料として、職員ごとの研修受講記録を作成する。記録の対象は市町村アカデミー等、総務課が参加者を募り派遣する研修とする。</p> <p>業務量を踏まえた人事配置を行うために、課ごと、係ごとの業務量を的確に把握する方法について検討を行う。</p>	<p>平成 <input type="text" value="29"/> 年度 から (2017)</p> <p>令和 <input type="text" value="3"/> 年度 まで (2021)</p> <p>※ 開始年度 平成 <input type="text" value="29"/> 年度</p>

⑥ アクションプランのスケジュール

平成29年度	変更(有)	平成30年度	変更(無)	令和元年度	変更(無)	令和2年度	変更(無)	令和3年度	変更(無)
・研修受講状況の整理、人事異動基礎資料作成		・研修受講状況の整理、人事異動基礎資料作成		・人事異動基礎資料作成		・人事異動基礎資料作成		・人事異動基礎資料作成	
・業務量把握方法の検討		・業務量把握に向けた取組みの実施		・業務量を踏まえた人事配置を実施		・業務量を踏まえた人事配置を実施		・業務量を踏まえた人事配置を実施	

⑦ アクションプランの目標

・研修受講状況を基礎資料として活用し、市町村アカデミー研修(業務系研修に限る)を受講した職員は、翌年度の定期人事異動の際に異動させないことを基本とする。

・業務量に見合った職員配置を行うことにより、時間外勤務の従事時間を減少させ、かつ年次有給休暇の取得を促進しワークライフバランスを推進する。

⑧ アクションプランの達成指標	単位	H28	H29	H30	R01	R02	R03
		実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
No.1 月100時間以上勤務者(年間延べ人数)	人	-	24	20	15	10	5
No.2 年次有給休暇取得数(全職員平均・前年年間)	日	7.8	7.6	8.5	9.0	10.0	10.0
No.3 業務量把握方法の検討	-		○				
No.4 業務量把握に向けた取組みの実施	-		○	○			
No.5							
No.6							

⑨ 関係課との連携

--

Ⅲ. アクションプランの進捗状況、自己評価、取組実績、取組後の課題

年度	進捗状況	自己評価	⑩ 取組実績	⑪ 取組後の課題
H29 (2017)	○	B	①研修受講履歴を人事異動資料として整理し、市町村アカデミー研修等の修了者は異動しない措置を行った。 ②総務課長ヒアリングを実施し、各課業務遂行の実態把握を行った。 ③時間外勤務の集計を行い、安全衛生委員会において縮減に向けた方策を検討している。	業務量把握に努めたが、未着手や遅延している業務については実際の業務量が見えにくく把握方法の確立には至っていない。 人事評価と総務課長ヒアリングを柱に、業務量の把握を引き続き行いたい。
H30 (2018)	△	C	①総務課長ヒアリングを実施し、各課業務遂行の実態把握を行った。 ②時間外勤務の集計を行い、安全衛生委員会において縮減に向けた方策を検討している。 ③業務量の把握まで対応できなかった。	①業務量過多による慢性的な人員不足。 ②①に伴い、時間外勤務の増加。 ③業務量を把握する手法については、その事務を誰が担当するかで、業務量の多少につながるため、数値で表すのは難しい面がある。
R01 (2019)				
R02 (2020)				
R03 (2021)				

Ⅳ. アクションプランの取組に関する行政経営推進委員会の評価、取組後の課題及び評価に対する改善・見直し

年度	⑫ 行政経営推進委員会の評価	⑬ 取組後の課題及び評価に対する改善・見直し
H29 (2017)		
H30 (2018)		
R01 (2019)		
R02 (2020)		
R03 (2021)		

1 「進捗状況」について

◎	計画を上回って進んだ
○	計画通り進んだ
△	一部の取組が遅れた
▲	全体的に取組が遅れた
×	未実施

2 「自己評価」について

A	想定以上の実施効果・成果が得られた、または想定以上の内容で検討・準備作業が行われた
B	概ね想定どおりの実施効果・成果が得られた、または概ね想定どおりの内容で検討・準備作業が行われた
C	想定どおりの実施効果・成果が得られなかった、または想定どおりに検討・準備作業が行われなかった（着手はしているが、検討結果が得られなかった等）

令和元年度 行政経営アクションプラン調査表

アクションプランNo.	Ⅱ	①	2	作成者	課長補佐 鈴木政康
基本方針	効果的かつ効率的な組織運営を行います				
取組事項名	定期的に行政組織や職員定数等の見直しを行います				
アクションプラン名	業務量の把握、職員の適性等を踏まえた人事配置				
所管課	総務課				

1 アクションプランの実施予定及び実施状況

- (1) 行政経営アクションプランに基づく取り組みの実施予定(見込)または実施状況を記載してください。
(2) 記載欄が不足した場合は、適宜追加してください。

実施(予定)月日	取り組み	具体的な内容
令和元年11月頃	各課業務ヒアリングの実施	全課の業務の遂行状況を把握することにより、その進捗から職員の過不足について整理し、翌年度の各課人員の大枠について決定する。

2 アクションプランの修正等

行政経営アクションプランに基づく取り組みを実施した結果、アクションプランの修正が必要と思われる場合は記載してください。

修正等内容